

高島公民館だより

2024年 1月号 2023.12.20 (文責：高木)

高島公民館
(アイリッシュパーク内)

〒520-1121

高島市勝野670

TEL 36-0219

FAX 36-1909

t-kominkan@city.takashima.lg.jp

新年にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年は4年ぶりに高島地域スポーツカーニバルが、ガリバー文化祭は、前年度に引き続き開催されました。この高島の地でスポーツや文化の振興にける高島地域の皆さまの熱意に頭がさがりました。

高島公民館も新たなスタートをしたいと考えます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

願いに生きる

トリオ・プリマヴェーラ 名曲コンサート 12月17日(日)

～滋賀で生まれたピアノトリオ～ (ガリバーホール)

先日(12月17日)ガリバーホールで「トリオ・プリマヴェーラ

名曲コンサート」が開催されました。演奏者のピアノ：志鷹美紗さん(広島県出身)、ヴァイオリン：ヴァルガのこさん(岩手県出身)、チェロ：高橋麻理子さん(東京都出身)はいずれも桐朋学園大学(東京)を卒業し、広島、カナダ、ドイツを拠点に活動されています。

2011年に滋賀県内で開かれたアーティストの派遣事業に参加し、母校が同じだったことから、この高島の地でトリオを組んで市内の小学校を訪問してアウトリーチコンサート(身近に聴く音楽授業)を展開されました。翌年からは文化庁による芸術家の派遣事業で毎年、この高島市内の小学校でアウトリーチコンサートを開催されています。10年目の記念にガリバーホールで感謝のコンサートを開催しようとされましたが、新型コロナウイルスの影響でこの度、四年越しのコンサート実現となりました。当日は、「名曲コンサート」の名の通り、よく知られている「愛の挨拶」(エルガー)「ラ・カンパネラ」(リスト)「白鳥」(サン・サーンス)等クラシックの名曲やクリスマス・



クリスマスメドレー



「琵琶湖周航の歌」高島・マキノ少年少女合唱団と共演

ジブリメドレーなど音楽に親しみのもてる演奏ばかりでした。しかも地元、高島とマキノの両少年少女合唱団と「翼をください」「いのちの歌」を、アンコールで「琵琶湖周航の歌」を共演されました。

コンサート後の鑑賞された方々のアンケートでは、「なじみのある名曲をわかりやすい語りかけとともに演奏してもらい、感激した」「トリオの息の合ったハーモニーが素晴らしかった」「少年少女合唱団とのコラボも音色に

うっとりした。合唱のハーモニーがトリオの演奏で引き立っていた」「親しみやすいプログラムで大人も子どもも楽しめるコンサート、とてもよかった。またガリバーホールでトリオの演奏が聴きたい」等、華麗なる演奏に思わず引き込まれた感想ばかりでした。プリマヴェーラの皆さまの「音楽のすばらしさを子どもたちや高島市民の皆さまに届けたい」「この素敵な出会いに感謝して演奏をしたい」という強い願いがこのコンサートには込められていました。「人事を尽くして天命を待つ」という中国のことわざがありますが、清沢満之という仏教者は「天命に安んじて人事を尽くす」と言葉を遺しています。まさにこれではないかと思えます。「今、願われているこの身に感謝し、最善を尽くす」というトリオ・プリマヴェーラの魂の叫びを感じたひと時でした。安心して頑張れる世界に身を置き、強い願いに生きておられるからこそ演奏に愛着がもて、息の合ったハーモニーがガリバーホールを包んでいました。

探訪・高島の自然と歴史景観④ 12月14日(木)

「琵琶湖周辺の水鳥等野鳥観察」【新旭水鳥観察センター】

標記の第4回探訪講座をこの度、開催しました。新旭水鳥観察センターへ現地集合の後、館長の石川さんから館内で水鳥等について説明を聞き、早速、センターから木津浜までガイドウォークに出かけました。この日は天候にも恵まれ、12月ではあるものの穏やかな小春日和でした。センターの駐車場ではカワラヒワやトビを観察したあと湖岸に出て水鳥を観察しました。この時期はくちばしとおでこが白っぽいオオバンが数多く、カワアイサというカモもけっこう見ることができました。木津浜では、二羽のコハクチョウに遭遇することもできました。館長さんの案内で、水鳥をはじめ野鳥の生態や特徴がよくわかり、受講生一同、



オオバンとコハクチョウ



木津浜で水鳥を観察

領きながら観察会を満喫することができ、あらためて琵琶湖の自然の素晴らしさに触れる機会となりました。

ビーチボール大会 12月9日(土) 高島B&G海洋センター

【高島地域スポーツ振興会委託事業】 高島ママさんバレーボール運営

この度、ビーチボール大会が行われ、市内から9チーム42名の参加のもと、熱戦が繰り広げられました。地元高島だけでなくマキノから参加してくれたチームもありました。A組B組C組の各ゾーンで3チームが予選を行い、決勝リーグでは予選の各組1位、2位、3位のチームが集まり試合をしました。その結果、優勝は「尺八先生」、準優勝「もみじ」、3位が「エース」となり、参加賞とともに、優秀な成績を収めたチームには豪華景品があり、ブービー賞に喜ぶチームもありました。初冬に心地よい汗をかいて活躍をしてくださいました。



表彰式から



ナイススト!

12月の「おはなし会」12月16日(土) 視聴覚室



パネルシアター

おはなしびっくり箱のみなさんによる「おはなし会」が視聴覚室で開催されました。今年には41名の親子のみなさんが参加されました。クリスマスにちなんだ歌やお話・パネルシアターなど多種多彩で、思わず話に引き込まれ、感嘆の声を上げる子どもたちのにこやかな笑顔が会場を包んでいました。最後には、サンタクロースも登場してクリスマスプレゼントもあり、参加者のみなさんは大喜びでした。おはなしびっくり箱の皆さまにはいつも献身的で工夫に富んだ取組をしていただき感謝を申し上げます。



サンタの登場

高島公民館 1月の予定表

1	月	休館日 (図書室休み) 元旦走ろう会
2	火	休館日 (図書室休み)
3	水	休館日 (図書室休み)
4	木	
5	金	新春子ども文化教室13:30~16:00
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	休館日 (図書室休み)
10	水	(図書室休み)
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	休館日 (図書室休み)
16	火	(図書室休み) 子ども書道(硬筆) 教室⑬
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	ガリバー書き初め展(~1/28) おはなし会10:30~11:00 (和室)
21	日	
22	月	休館日 (図書室休み)
23	火	(図書室休み) 子ども書道(毛筆) 教室⑮
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	市内中学校吹奏楽部プラスコンサート (ガリバーホール)
28	日	ヤングピアニストコンサート (ガリバーホール)
29	月	休館日 (図書室休み)
30	火	(図書室休み)
31	水	

【高島図書室から】 36-2160

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

年の始めに紹介する本として、今回はこんな2冊を選んでみました。どちらも新しい年のスタートにぴったりの、元気と力をもらえる本です!



『アンと幸福』 坂木 司/著 光文社

まず紹介するこちらの本は、デパ地下の和菓子屋で働く主人公・梅本杏子、通称アンちゃんが活躍するお仕事ミステリーのシリーズ最新刊です。一作目『和菓子のアン』から始まり『アンと青春』『アンと愛情』と続いて、本書でシリーズ四作目となります。まるで、名作『赤毛のアン』を思わせるようなタイトルのこのシリーズ。主人公のアンちゃんも、赤毛のアンのように新しい世界で個性的な人たちに囲まれ、さまざまな出来事に出会い、シリーズを通して成長していきます。今作では、アンちゃんもいよいよ次のステップへ!

日常の謎と、美味しい和菓子がたくさん登場するこちらの本、既刊と合わせてぜひお楽しみください♪

『笠置シヅ子信念の人生』 柏 耕一/著 河出書房新社

朝の連続テレビ小説『ブギウギ』の主人公・福来スズ子のモデル、笠置シヅ子。今まで『笠置シヅ子』の名前を聞いたことがなくても、彼女の代表作『東京ブギウギ』のメロディーを聞いたことはないでしょうか。朝ドラのモデルということで、彼女に興味を持ったひとも多いのでは?

本書の帯には『うなだれる戦後の日本人を一瞬にして笑顔に変えた空前絶後のスター歌手!』と書かれています。本書の表紙を飾る笠置さんの大口を開けた屈託のない笑顔を見るだけでも、戦後の日本を明るくした人だな、ということがよくわかります。

では、戦後『ブギの女王』として一世を風靡した笠置シヅ子とは、実際にはどんな人だったのでしょうか。また、その人生とは?

信念を持って力強く自分の人生を歩んだ彼女の生き様から、力をもらえる1冊です。

紹介した本以外にも新しい本が入っています。図書室の新刊の棚もぜひご覧ください。